

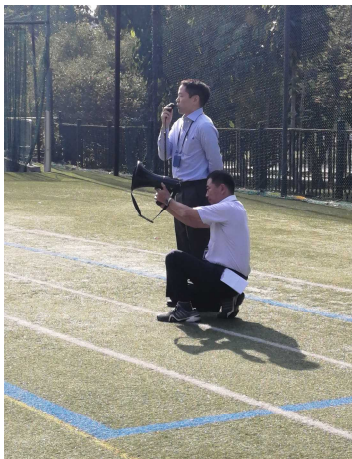
穂 学

令和元年度
広州日本人学校 学校便り
[No. 15]
令和元年11月13日(水)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「命にかかわること、二点」

<火災避難訓練:11月5日(火)>

4月から計画的に避難訓練を続けています。不審者侵入、引き渡し訓練などが中心でしたが、今回は校舎内の火災を想定し、グラウンドに避難する訓練です。児童生徒の振り返りカードには、避難時のキーワードである「おかしも」(押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない)を意識した振り返りが書かれています。総領事館の大滝裕様から全体講評をいただきました。児童生徒が静かに避難する様子にお褒めの言葉をいただくとともに、火災の時はハンカチなどを口にあて、煙を吸わないようにすることも大切であることを教えていただきました。これからも「自分の命は自分で守る」ことを忘れずに行動できるようになってほしいものです。大滝様、お忙しい中、ありがとうございました。



過日、沖縄の首里城火災のニュースに大きな衝撃を受けました。一瞬にして大切なものが失われていく火災の恐ろしさを改めて思い知らされました。校内でも消火設備などの点検を行っているところです。

<地球環境講座:11月6日(水)>

小学校5、6年生を対象に、地球環境講座を開きました。講師にJALの五十嵐武様をお招きし、私たちの住む地球がどうなっているのかについてお話しいただきました。

「地球温暖化」という言葉を聞いたことがありますか。二酸化炭素が増え続けると、温室効果ガスの働きにより、地球の気温が上昇することを指します。それにより、北極の氷が溶けたり、海水面が上昇したり、大きな台風が発生するなどの異常気象が起きます。それを防ぐためにできることは何なのかを考え行動できるようになりたいものです。節電、エコバッグ利用など、日常的に一人でもできることから、植樹やソーラーシステム利用など、多くの人々で取り組むことなど様々です。何より、まずは自分の身の周りのことに興味を持つことです。ご家庭でもできることがたくさんあると思いますので、一緒に話し合ってみてください。



あわせて、「JAL航空教室」も開催され、講師の柴田都玖美様から飛行機の秘密をたくさん教えていただきました。ありがとうございました。